

[課程－2]

審査の結果の要旨

氏名 岡本 将輝

本研究は上腕から測定される血管機能指標と認知機能の関連を明らかにするため、介護老人保健施設を利用する高齢者において、横断的・縦断的な疫学的検討を試みたものであり、下記の結果を得ている。

1. ベースラインで測定した血管機能指標 AVI は、認知機能指標 MMSE と横断的に関連し、AVI で測定する血管機能が低下していることは MMSE で測定する認知機能が低下していることと有意に関連した。また、この関連は年齢・性別・既往歴・社会経済的因子などをはじめとした種々の交絡因子から独立していることを示した。
2. ベースラインで測定した AVI は、1.5 年後に測定した MMSE と有意に関連し、AVI で測定する血管機能が低下していることは、1.5 年後の MMSE で測定する認知機能が低下していることを予測した。また、この関連も種々の交絡因子から独立していることを示した。
3. 統計学的な有意差は示されていないが、AVI で測定する血管機能が低下していることは、低下していない者に比べ、その後 1.5 年間のより急激な認知機能低下を示唆していた。

以上、本論文は上腕から測定する血管機能指標 AVI が、横断的・縦断的に認知機能指標 MMSE と関連することを、日本人高齢者集団において明らかにした。本研究は AVI と認知機能の関連を示した最初の研究であり、血管機能が認知機能と関連するメカニズムの解明に向けた貢献、また認知機能低下予防における新しい非侵襲的指標の潜在的有効性を示したと考えられる。

よって本論文は博士（医学）の学位請求論文として合格と認められる。